

No.2も  
見てね

4か月ぶりの発行です。新型コロナウイルス感染症の流行による休校や活動自粛にともない、子供たちが地域とつながる様子をお伝えすることができませんでした。学校も地域も「つながり方」を模索しながら、徐々にではありますが、できることから始めています。各学校運営協議会でも協力的な意見が多く出されました。

今回、直接会わなくても「つながる」取り組みを2例ご紹介します。これからもできる範囲で温かい交流をお伝えしていきたいと思ひます。



## 今、わたしたちにできること... No.1

～小学校と有田市社会福祉協議会がコラボした活動をご紹介します～

### お手紙・絵手紙 応援大作戦

～ほっこいお届け隊～

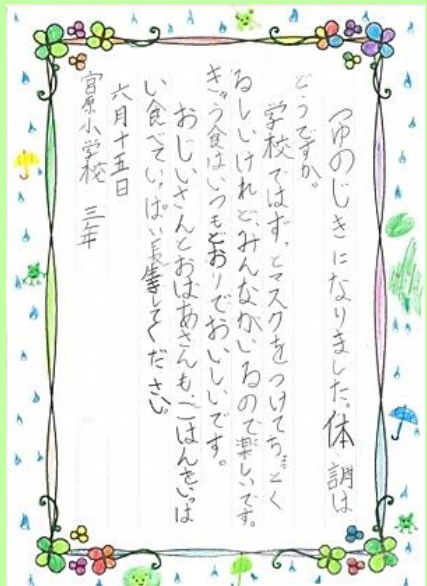
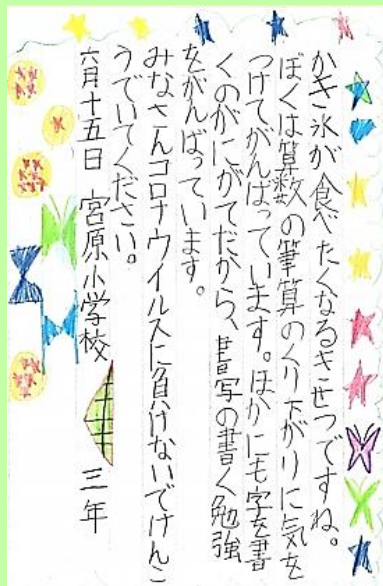
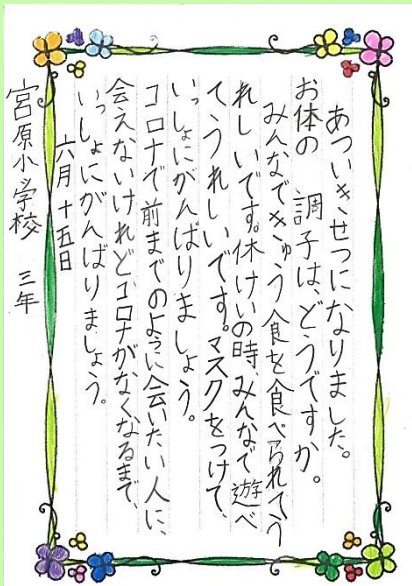
施設や病院では、新型コロナウイルス感染防止のために入所・入院されている高齢者の方々が、ご家族やお友達と面会できない場合が多いそうです。

そこで、子供たちや地域のみなさんから、心が「ほっこり」するお手紙や絵手紙を募集し届けようという活動です。宮原小学校の3年生が取り組んだお便りから一部をご紹介します。

お返事を下さった方も  
いらっしやいます。

宮原小学校の皆様

こんにちは。この度、皆様から元気あふれる  
励ましのお手紙を頂き、感謝しております。あだ橘苑の  
83歳の女性です。  
何回も、何回も、読みかえました。  
そう、私にも小学生時代があったのだよ、鉄棒が苦手  
だった、とか遠くへ行ってしまった昔を思い出しました。  
小学校時代は、一回きりです。充分たのんで下さい。  
ありがとう ございました。  
あだ橘苑在住



## 今、わたしたちにできること... No.2

～小学校と有田市社会福祉協議会がコラボした活動をご紹介します～

## 新型コロナと一緒に乗りこえよう ～リモートで交流～

箕島小学校 6年生では、社会福祉協議会と連携して、コロナ禍において自分たちができることを考え実行する学習を行っています。7月、松組は高齢者に、竹組は市役所にインタビューをしました。毎年交流を行っているひまわりケアサービスさんとのオンライン授業の様子（松組）をお伝えします。

モニター画面左が利用者さんとスタッフの方、画面右が子供たち。この新しい交流の形に慣れていくにつれて笑顔が多くなりました。



子供たちの質問に笑顔で答えるひまわりケアサービスのみなさん。リモートで楽しい時間を過ごしました。

子供たちから、「小学校で運動会や音楽会が中止になったように、施設でもいろんな行事ができなくなったらしいので、リモートを使って何か楽しいことを企画したい。」「マスクを家庭科の実習で作って渡したい。」「手紙を書きたい。」などの意見が出されたそうです。他の小学校2校と箕島高校もこのような取り組みを進めています。市内各校、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら「つながり方」を模索中です。



「コミュニティ・スクールだより」は、有田市ホームページ <http://www.city.arida.lg.jp> からでもご覧いただけます。

総合トップ ⇒ 暮らしの情報 ⇒ 子育て・教育 ⇒ 教育

⇒ コミュニティ・スクールについて

スマートフォン等からは、QRコードもご利用ください。

